

5月の園だより

【地域版】

令和8年5月

富田林市立青葉丘幼稚園



あざやかな緑がまぶしい季節となりました。小鳥のさえずりとともに、子どもたちの元気な声が園庭にひびきわたっています。春のやわらかな光や風は、子どもたちの心を自然と解きほぐし、豊かな感性を育ててくれているようです。

新学期が始まり、5歳児は当番活動がスタートしました。子どもたちはグループに分かれ『ウサギのチャチャちゃんのケージ』『靴箱』『ビオトープ』の掃除に取り組んでいます。

ウサギ当番の子どもたちは、チャチャちゃんがサークルへ移動しやすいようにケージを近づけ「お家をきれいにするから待っててね」と優しく声をかけています。靴箱当番の子どもたちは職員室前の靴箱まで丁寧に掃除をしてくれています。そしてビオトープ当番の子どもたちは、「メダカさんが泳ぎやすいように・・・」とつぶやきながら、火ばさみを使って池の中の落ち葉を拾っています。

そんなある日、ビオトープを掃除していた子どもたちが、ふと疑問を口にしました。「池に落ちている葉っぱは拾うけれど、池の中に生えている草は取らなくてもいいのかな?」「池の水をきれいにするのなら、草も取ったほうがいいのでは?」と、考えが広がっていきます。さらに、「メダカは池に入れたけれど、アメンボはどこから来たの?」と、新たな疑問も生まれました。日々ビオトープに関わっているからこそ生まれた気付きです。

担任の山下先生から「辻先生なら詳しいかもしれない」と聞いた子どもたちは、さっそく辻先生に話を聞きに行きました。池の中にはメダカやアメンボだけではなく、目に見えないほど小さな生き物が暮らしていて落ち葉を食べて生きているので、全ての落ち葉を取り除く必要はないこと、また、池の中に生えている草については様子を見ながら、必要に応じて手入れをしていくことなどを教えてもらいました。さらに、アメンボは空を飛んでやって来ることもしりました。

そして、水草の名前やアメンボがどのようにして飛んでくるのかについては、自分たちで調べていくことになりました。昨年度、大阪大谷大学の地下先生とともに補修したビオトープは子どもたちにとって大切な学びの場となっています。

これからも子どもたちには直接体験を通して、たくさんの疑問や不思議に出会って欲しいと願っています。出会った『もの』や『こと』に何を感じ、どのように心にとめていくのか、その過程を大切に見つめながら、子どもたちの探究心を引き出していけるよう努めてまいります。

今月も地域の皆様のご支援・ご協力よろしくお願いたします。

園長 横大路 久美

—育てたいこと—

- 3歳児 ・先生と一緒に身の回りのことをしようとする。
・身近な自然に興味をもち、触れたり見たりして楽しむ。
- 4歳児 ・園生活に必要なきまりや行動の仕方に気付き、身の回りのことを自分でしようとする。
・友達や先生と一緒に、身近な自然物に触れたり関わったりして遊ぶことを楽しむ。
- 5歳児 ・戸外で伸び伸びと体を動かして遊び、自分の思いを表現することを楽しむ。
・好きな遊びを楽しむ中で、友達との関わりを深めていく。
・季節の移り変わりを感じながら、自然に親しんだり、飼育栽培活動を楽しんだりする。



みんなで食べると美味しいね!

砂場で遊ぶの大好き!!

制作活動
ハサミも上手に使えるよ!!

友達と一緒に!

ソラマメ収穫
フワフワのベッド!

対面式
仲よくしようね!!

5歳児さんに降園準備を手伝ってもらいました!

草笛に挑戦!

ビオトープをきれいにしよう!

チャチャちゃん待っててね!

地域の方のレンゲ畑へ・・・

テントウムシ
みつけた!

公立幼稚園合同説明会を行います!

☆令和8年6月27日(土)【9時~開場】
時間:9:20~11:00
場所:すばるホール3階プラネタリウム室
費用:無料(定員120席)



★事前申込みが必要です。
申込みはこちら→→→
申込み期間:5月1日~6月17日
詳細は幼稚園まで!

5月生まれのおともだち

4名のお友達の誕生日です!!

おたんじょうび おめでとう!

